

4年1組 道徳科学習指導案

1 主題構成表

主題名 正直に行動するために

教材名 「『正直』五十円分」

<p>■内容項目 A 正直 誠実</p> <p>過ちは素直に改め、正直に明るい心で生活すること。</p>	<p>■内容項目から見た児童の実態 (意識)</p> <p>・明るく活発で、自分の気持ちに素直な児童が多い。また、正直で誠実な行動を取るべきだと理解している児童が多くいる。しかし一方で、正直に言わないといけなくて頭では分かっている、叱られるから、多分見つからないだろう、ばれなければいいだろう、これくらいならいいだろうという気持ちでなかなか正直に言えない姿もある。</p> <p>(要因)</p> <p>・うそやごまかしが一時しのぎであることに気付いていない。その先、自分の心が晴れず、もやもやした気持ちになることまで気付いていない。</p> <p>・正直に話すことで、すっきりすることや相手も気持ちよくなることまで感得していない。</p>	<p>■教材の分析</p> <p>「『正直』五十円分」</p> <p>たけしのおっちゃんにおつりを返さない気持ちを追求することで、分かっているもなかなか正直に言えない多様な考え方や感じ方を引き出すことができ、自分との関わりに気付かせることができる。</p> <p>おつりを返しに行ったたけしの気持ちを追求することで、正直に話すともやもやがなくなり、すっきりすることや相手も気持ちよくなることを感得させることができる。</p> <p>たけしとひろしが帰っていく場面で、兄弟の会話を役割演技することで、実感をもって正直にすることのよさを感じ取らせることができる。</p>
<p>■ねらい</p> <p>正直に言えない気持ちが自分にもあることに気づき、正直に話すことですっきりした気持ちになることが分かり、明るい心で自分に正直に生活していこうとする心情を育てる。</p>		
<p>■展開の構想</p> <ul style="list-style-type: none"> 具体的な場面を取り上げて、正直な行動についてワークシートを用いて考えられるようにする。生活体験とつなげて考えさせながら、価値への方向付けを行う。 教材文を読み、「たけし」のしたこととよくない行動を挙げ、人間理解の発問につなげる。 「おつりを返さないのはだめだとわかっているのに、どうしてすぐに返さなかったのでしょうか。」と問うことで、正直に言えない多様な気持ちを引き出し、自分はどの気持ちが強いのかに気付かせる。 たけし(兄)とひろし(弟)の役割演技をすることで、実感を伴って、正直に行動できた喜びやすがすがしさを考えられるようにする。 これまでの生活を振り返り、自分の心にうそ偽りなく行動していこうとする気持ちを高める。 	<p>■判断力・心情・実践意欲 態度を高める工夫</p> <p>○[中心発問]「たけしは、あんなにも言うかどうかわかってたのに、どうしておつりが多かったことを言ったのだろう。」と問い、ごまかしたままでもやもやした気持ちが残る、気分が晴れないことをとらえさせる。</p> <p>○[学習形態]中心発問の後に役割演技を位置付け、ごまかしをしないで正直に話すことで、自分もすっきりし、その行為が相手も気持ちよくなることに気付けるようにする。</p> <p>○[言語活動]これまでの自分を見つめ直し、正直でいられてすっきりした経験や、正直でいられなかった弱さがあることを感じ、自分に正直にしていこうとする気持ちを高める。</p>	
<p>■道徳性の高まりを見届ける体験活動の工夫</p> <p>道徳「『正直』五十円分」 → 日常生活 → 学校行事(校外学習、はりんこ活動)</p> <p>自分の損得にとらわれず、正直であることのよさを感じ、明るい心で伸び伸びと過ごそうとする。</p>		

	学習活動と予想される児童の反応	指導・援助
導入	<p>◇学習課題を設定する。</p> <p>○自分が損をすると分かった時に、正直に話しますか。</p> <p>◇具体的な場面に対して、自分は正直に言うのか言わないのか、どちらの方に近いのか、ワークシートに書き表す。</p>	<p>・生活体験とつなげて考えさせることで、価値への方向付けを行う。</p> <p>・授業前の自分の考えを気持ちのメーターに表す。</p>
展開前段	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">正直に行動することのよさは何かを考え、自分を見つめよう。</p> <p>◇教材「『正直』五十円分」を読んで話し合う。</p> <p>○たけしがおっちゃんにしたことで、「よくないなあ」「いいなあ」と思ったところはどこでしょう。</p> <p>・おつりをすぐに返さなかったのはよくない。(人間理解の場面)</p> <p>・最後におつりを返しに行ったところはいい。(価値理解の場面)</p> <p>○おつりを返さないのはだめだと分かっているのに、どうしてすぐに返さなかったのでしょうか。</p> <p>・黙っていればばれない。</p> <p>・自分が得するから。</p> <p>・おっちゃんのお店は儲かっているようだから、五十円くらい返さなくても困らないだろう。</p> <p>・今さら本当のことを言うのがはずかしい。</p> <p>・言いに行くのがめんどくさい。</p> <p>・おつりを間違えたおっちゃんが悪い。</p> <p>◎たけしは、あんなにも言うかどうか迷っていたのに、どうしておつりが多かったことを言ったのだろう。</p> <p>①おばちゃんにはおつりが足りないことを言ったのに、おっちゃんに言わないのはずるいから。</p> <p>②弟に知られたから。</p> <p>③お母さんに叱られるから。</p> <p>④ごまかしたままだと、ずっともやもやするから。</p> <p>⑤返さなくて、後悔するのが嫌だから。</p> <p>⑥たった五十円でも、おっちゃんが困るかもしれないから。</p> <p>○夕焼けの道を帰りながら二人はどんなことを話したのでしょうか。</p> <p>【役割演技】(弟)ひろし:教師 (兄)たけし:児童</p> <p>ひろし:兄ちゃん、おまけでもらったたこ焼き、すごくうまいよ。おっちゃん、損するのに、どうして、おまけしてくれたのかな?</p> <p>たけし:おつりが多かったことを正直に、おっちゃんに言ったからじゃないかな?</p> <p>ひろし:兄ちゃん、今、ごまかさなくて正直におつりを返して、どんな気持ち?</p> <p>たけし:おつりを返す前はなやんでもやもやしていたけれど、今はすっきりしているよ。</p> <p>ひろし:正直に話すと、自分もまわりもすっきりした気持ちになるんだね。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">【まとめ】 正直に行動すると、自分もまわりもすっきりする。</p>	<p>・登場人物を確認する。</p> <p>・たけしがおっちゃんにしたことで、「よくないなあ」と思うところ(人間理解の場面)、「いいなあ」と思うところ(価値理解の場面)に着目して範読を聞くように促し、人間理解や価値理解の発問につなげる。</p> <p>・お金のやりとりを板書で整理し、損得を確認する。</p> <p>・おつりが五十円分足りなかったときの気持ちを確認し、足りないと感じたときはすぐさまお店に走ったなど、自分にとって損得を考えて行動している場面をおさえる。</p> <p>・正直に言えない多様な気持ちを引き出し、板書に整理する。交流を通して、自分はどの気持ちが強いのかに気付かせる。仲間の発言を聞いて、「最初は」「〇〇を聞いて」「今は」で発言できるようにする。</p> <p>・仲間の意見を聞いて、自分の考えに変容があった児童のネームプレートを裏返し、色を変える。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">【補助発問】 ★ごまかしたままだとどんな気持ちになるだろう。(④の反応を引き出したい)</p> <p>・ねらいに迫る価値観の高い反応「ごまかしをするとずっともやもやするからいやだ」を取り上げ、「この気持ちも確かにある?」と問いかけ、②「弟に知られたから。」、③「お母さんに叱られるから」と発言した児童に対して意図的指名をする。</p> <p>・役割演技を通して、ごまかしをしないで正直に話すことで、自分もすっきりし、その行為が相手も気持ちがよくなることに気付かせる。</p> <p>・役割演技を見ていた児童に正直に話すとどんないいことがあるのかなと問いかけ(課題とつなぐ)、正直でいるとすっきりするという本時の価値に気付けるようにする。</p>
展開後段	<p>◇自分の生活を振り返る。</p> <p>○今までに正直にできたことや、できなかったことはありますか。また、その時、どんな気持ちでしたか。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">【自分見つめの視点】 ・今日の学習で学んだこと ・これまでの自分 ・今思うと</p> <p>◇発表する。</p> <p>・私は、「自分から言わなければ、誰にもばれないだろう。」と思って、正直に話せなかったことがある。もやもやした気持ちが残ってしまった。</p> <p>◇ワークシートで見つめる</p>	<p>・自分の体験から正直でいられてすっきりした経験や、正直でいられなかった弱さがあると感じ、これからの生活につなげられるようにする。</p> <p>・机間指導で、学校や普段の生活での様々な場面を問い、具体的な場面を想像しながら考えることができるようにする。</p> <p>・授業後の自分の考えを気持ちのメーターに表し、授業前との変容をみる。</p>
終末	<p>◇教師の説話を聞く。</p>	<p>〈変容の見届け〉</p> <p>・自分の損得を考えて、正直でいることが難しかった児童が、正直に話すことですっきりした気持ちになることに気づき、自分に正直にしていこうとする気持ちをもつことができたか。</p>